

# OB会・会報

東京都大田区池上  
7-21-10  
発行責任者 土岐悦康  
編集 森宮延佳  
平方朝彦

## OB会・規約案まとまる

### 六月下旬に総会

先号でも触れましたがその後規約作成委員会を開き検討の結果、次のような会則原案が出来上りました。

卒業生全員が入会出来るようにという事で議論してききましたが、その中で「目的・活動」「会員の資格」「会費の額」などが一番問題になりました。特に会員の資格では、日本大学吹奏楽研究会在籍者全員を会員とするという案や、中途退部者と四学年迄在籍した者とを区別する、又外部の人で入会したい場合はどの様にするか、というよう

な事でもなかなかなか決りませんでした。結局、四学年迄在籍した者を正会員とし、中途退部者と外部の人を特別会員とする、ということに決りました。

会費の額については、年間二千元とし、今迄より納入する機会を多くし、地方在住者の便をはかるため、銀行等の振替口座をも検討しています。その他色々な御意見もあると思いますが、六月下旬に予定されている総会で提案していただければ幸いです。

四十一年度卒  
小林将夫

去年の夏からかかっていたが、やがて会則の原案も出来上がり、やつとこまごまに決まりました。

途中で中だるみもありましたが、沢山のOBが仕事をやりくりして参加してくれました。

最近少し余裕もできて、会報を年に何回発行しようかなどということも話題になつています。

現在OBの間でゴルフのコンペも行なわれているようです。

色々な同好会ができるようになったのですが何かやってみませんか。

会報を利用して下さい。無料ですよ!!

意見をお聞かせ下さい。総会には沢山のOBが参加されることを楽しみにしています。

森宮延佳

立派なOB会ってなんだい

中山久仁彦

またOB会が出来そうですので大変よろこんでいます。しかも規約を決めたり、役員を選出するだけでなく、活動方針を総会等で討議し、それら

をこれから続けて行くというのですからまつた

くこたえられませんが、皆、ブラスを卒業し、色々な分野で活動してはいますが、その時その時のブラスを心のより所としていることに異議はなかりたいと思いません。

協力を立派なOB会にしなくては行けないと思います。

ところで立派なOB会とはなんだい……?

学生・社会人  
そしてOB会

東郷桂治郎

昨年の四月に入社したと思つたら、もう一年間が過ぎてしまいました。

私は中学時代からラッパを吹き続けてまいりましたが、研究会を卒業すると同時にプレイヤーから客へと立場が逆になつてしまいました。

入社以来八ヶ月余りはレコードを一枚もまともに聞くことが出来ませんでした。

このように言うときも忙しそうですが、新入社員の私達で忙しすぎず、わけはなかつたはずですが、しかし音楽を聞くこと、

かつたのは事実でした。さらに会社の中に閉じこもり、視野が狭くなるのを恐れていました。ところが、先輩から「OB会再建のために両国へ出て来い」という話がありまし

た。何回か参加し、色々な話を聞いてみると、

良い社会勉強にもなりました。OB会についての御意見もあると思います。今回開かれる総会(同じ釜の飯を喰べた者が全員集つまる会)には是非出席していただき、私達、新前の社会人のよきアドバイザーとなつていただけたら良いと思います。

41年度卒  
ちよつと  
コーシヤルを

柴戸英一

四十一年度卒業というともう足かけ六年にもなる。思えばそつとするようなことではあるが、今年の現役一年生からみると十年の開きがあることになる。

これで一体「話しながら通じるのかしら」などと思つて、現役の前には顔を出すのもつづいた。めらつてしまふのだが、そこは何か共通の話があるものだから面白がつて顔を出すことになる。

それというの、私もまだ現役でいるから、四知人ぞ知る、我が四十一年度卒の面々は半数以上がアマチュアとして吹奏楽の現役でいる、という事は実に素晴らしいと思う。一人は北海道で市民バンドを組織し、一人は茨城県でやはり市民バンドのリーダーとして活躍中であり、他の二名がそのバンドの団員として参加し、在京の一人は社内バンドに属しており、静岡の三名もそれぞれ何らかの形で活躍中である

と聞く。

私は現役中を通じ、少しも上達しなかつた楽器を今もつて上達しないまま吹き続けている。

古河 吹奏楽団

その名も「コガブラス」土屋道義を団長とし、小林将夫、私、そして総勢四〇名近いメンバーを持つ純粋のアマチュアバンドである。

今年の七月二日に第三回定期演奏会を行なう予定であり、目下猛練習中であるが、当日は毎年のことながら入場券が手に入らない人が沢山あるのを目に申し込んでもらいたい。

演奏するものといつたら、大学なんぞではめつたにえ目にかからないようなものから、大学でもやれないような難かしいものまで各分野にわたつているのが特徴。

学生と違つて毎年メンバーが交る訳でもないし、上級生の好みで選曲するという訳でもないから、例え今年選曲に失敗したとしても、来年に他の曲をやればよいのだし、私の持論として、吹奏楽は常にその特性を追究すべきであつて、管弦楽や他の分野の曲は、曲として採り上げる事はあつても究極の目標とは決してなり得ない事。

それに庶民性というか、気取りのなさ、言い替えれば音楽はしかめつたらをしながらやるものではないという事などから、思ひきつた事が行なえる点、吹奏楽の面白さには限りがないように思える。

音楽の楽しさは起承転結の作り方にある。つまり和声の連続そのものが小川にさざ波が起り、それが静まるというた事の繰り返しからクライマックスを形成してゆく過程にあり、極度のテンポルバード等を駆使する事によつてダイナミックスを造りあげる事は、それが譜面に直接指示されていなくても強調すべき箇所を於て、自由な解釈を盛り込み楽団員にも聴く者にも楽しい、面白い音楽を提供出来るのだから、その方針に何ら異論をほさませる余地はないだろうと思ふ。

その後において高度な演奏を行なう事を心掛ければ、パツパツやヘンデルの演奏だつて決して難かしくないだろう。

先ず音楽の面白さとして曲とはどういふふうに成り立っているかの認識を持つことが大事なのだよ。ヤマチヤン……

コガブラス

定期演奏会

今年の「コガブラス」の定演はE・シュトラウスの「ウイーン市のファンファーレ」ではじまり「二・三部それぞれマリーチ、ラテン、ポピュラー、オリジナルを演奏する予定でいる。

・ゼムベイス  
・雷鳴と稲妻  
(ポピュラー・ラテン)  
・小さな恋  
・マジゲニーヤ  
(オリジナル)  
・コラル・カブリチオ  
・復帰への前奏曲  
他となつて

茨城県古河市は東北本線で上野から約一時間の所にあります。市全体がサークル活動の盛んなところで、入団希望者が後を断たないが中・高校生は特例を除いて勉強に専念してもらうため入団させない。

私があと一〇年、二〇年たつても出来ることならいつまでも参加したいものだと思つて、OBで熱意ある人は、いつでも見学に来てもらいたいし、参加してくれて結構です。

「雀百までブラス忘れず」である。

俺はやるよ。  
ヤマチヤン……

小林将夫  
ブラスを卒業してからも六年目。誠に早いです。二、三年程は全くブラスと離れ楽器を演奏する機会はないかと諦きらめていました。

ところが二年位前、同輩の柴戸君より「土屋が古河で吹奏楽団の団長をしてるぞ」ということで今は柴戸君と二人で日曜日ごとに通つております。人数は四〇人弱の編成ですが皆とても楽しんでやつており、毎年六月後半に定演もやつています。

外国映画等で公園の中で子供や老人達が集つて楽しく合奏している情景を見ると、とてもうらやましくなり、日本でも早くこうなりたいものだと思います。

告知板

演奏会のお知らせ

千修  
チャリティー  
コンサート  
六月二十四日(出)

千代田公会堂  
五時三〇分開場  
六時 開演  
入場料 三〇〇円位  
詳細は直接左記へ

電話二六一一八四一  
榎千修・佐藤式社まで

〇〇〇のお知らせ

OBのみならず、転居、転職、地番変更、求人、求職、求むアルバイト、その他、諸々。

あいつが結婚するぞ。三月月だつて。(エツ)

〇月〇日に生れたらしいよ。親に似なくてよかったな。(失礼)

原稿募集中

OB会・会報の原稿を募集中です。

OBに知らせたいことや、近頃の現役は……、どんなことでも結構です。沢山の投稿をお待ちしております。

ドロー遅くなりましてすみません。水虫と同じで「俺はな〇〇だ……」の一点ばり。「書くよ」といわれてその気では「たら」ゴメン、やつぱりだめだよ。俺も苦勞するよな……。